

## 大学院生に対する研究助成（2025年度）採択者の年間スケジュール

時期	内容
当該年度 ＜2025年＞5月中旬	<ul style="list-style-type: none"><li>● 学術・研究推進委員会から採択通知、手続き・会計関連の書類一式が届く。</li><li>● 所属施設での倫理審査を進める。</li><li>● 助成金振込用の口座を準備し、「日本小児看護学会振込口座申請用紙」（様式②）を学術・研究推進委員会に提出する。</li></ul>
当該年度 ＜2025年＞5月下旬	<ul style="list-style-type: none"><li>● 学術・研究推進委員会から助成金¥100,000 または¥200,000 が助成金振込用口座に振り込まれる。</li><li>● 本格的に研究を進める。</li><li>● 物品購入等経費が発生した際は、宛名を「日本小児看護学会・大学院生に対する研究助成（氏名）」にした領収書を必ず受け取って保管しておく。</li></ul>
当該年度 ＜2025年＞5月 ～＜2026年＞1月	<ul style="list-style-type: none"><li>● 学術・研究推進委員会から、研究の進捗状況、困りごとの有無やその内容について尋ねる連絡がある。</li><li>● 研究についてお困りのこと、会計処理に関してわからないことなどがあれば、その都度、学術・研究推進委員会に連絡する。</li></ul>
当該年度 ＜2026年＞2月下旬	<ul style="list-style-type: none"><li>● 研究の報告書（終了もしくは途中経過報告）（様式 2-1, 2-2）、助成金の会計報告書（様式③、④、⑥～⑫等）を学術・研究推進委員会に提出する。 ～注意！～ 助成金の次年度繰り越しはできないため、年度内に使い切る。 研究は途中で構わないが、報告書は必ず提出する。</li></ul>
当該年度 ＜2026年＞3月以降	<ul style="list-style-type: none"><li>● 学術・研究推進委員会および総務委員会による監査の結果、会計報告に修正が必要な場合は対応する。</li><li>● 研究は学術集会（あるいは学会誌）で発表するまで継続する。</li></ul>
翌年度＜2026年＞夏 翌々年度＜2027年＞夏 翌々々年度＜2028年＞夏	<ul style="list-style-type: none"><li>● いずれかの学術集会で研究成果を発表する。 （学術集会の演題登録締め切りは例年1～2月頃）</li></ul>

※大学院博士後期（博士）課程で採択された方のみ、「翌々々年度」の発表が可能